

2017年12月期
第3四半期 決算説明資料

2017年11月7日

ダンロップスポーツ株式会社

(本資料の金額表記は、億円未満を四捨五入しております)

連結損益概要

海外販売好調で増収・増益

(単位:億円)	2017年		対前年 (増減率)	1-6月		7-9月		公表値 (通期)	対前年
	1-9月	2016年 1-9月		対前年	対前年				
売上収益	558	548	+10 (+2%)	362	△3	196	+13	765	+32
営業利益 (率)	32 (5.7%)	31 (5.7%)	+1 (+2%)	24 (6.6%)	+1	8 (3.8%)	△0	35 (4.6%)	△5
税引前利益	34	17	+17 (+102%)	25 (6.8%)	+13	9 (4.7%)	+4		
純利益	19	6	+13 (+204%)	13 (3.6%)	+9	6 (3.2%)	+3	22 (2.9%)	+3

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■対前年同期

海外販売好調で増収。
原材料価格等の上昇で粗利は微減となったが経費の減少等により
営業利益は増益。
金融収益にて主に為替差益となったことにより税引前利益が増加。

	対前年
国内ゴルフ用品市況	101%
国内テニス用品市況	98%
米国ゴルフ用品市況	98%

<1>

製品別売上収益

ゴルフボール、テニス用品、ウェルネス等で増収

(単位:億円)	2017年 1-9月	対前年		為替影響 除く	日本		海外 (為替除く)	
		金額	率		日本	海外		
ゴルフクラブ	242	△1	△0%	△5	△27	+23		
ゴルフボール	114	+6	+5%	+5	△0	+5		
用品その他	49	△5	△9%	△5	△6	+1		
ゴルフ用品	405	△0	△0%	△5	△34	+29		
テニス用品	53	+5	+11%	+5				
ライセンス収入	5	+1	+30%	+1				
スポーツ用品	463	+6	+1%	+1				
サービス	29	+1	+2%	+1				
ウェルネス	65	+3	+5%	+3				
合計	558	+10	+2%	+5				

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■ゴルフクラブ・ボール

海外は北米・欧州・韓国が好調。
国内クラブは市況の影響と競争激化により減収。

■テニス

北米新規テニス事業で増収。

■ウェルネス

コンパクトジム新規出店継続により増収。
既存店の会員数も堅調に推移。

<2>

地域別売上収益

日本で減収も海外で増収

(単位:億円)	2017年 1-9月	対前年 増減	為替影響 除く
日本	335	△28	△28
北米	77	+22	+20
欧州	41	+3	+5
アジア	90	+12	+9
豪州・南ア他	14	+0	△1
海外売上収益	223	+38	+33
海外売上収益比率 (用品事業のみ)	39.9% (48.6%)	+6.1P (+7.7P)	+5.6P (+7.2P)
連結売上収益	558	+10	+5

※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■日本
ゴルフクラブが前年を下回り減収。

■北米・欧州
ゴルフクラブ、ゴルフボール好調で増収。
北米新規テニス事業で増収。

■アジア
韓国でゼクシオ クラブが好調。

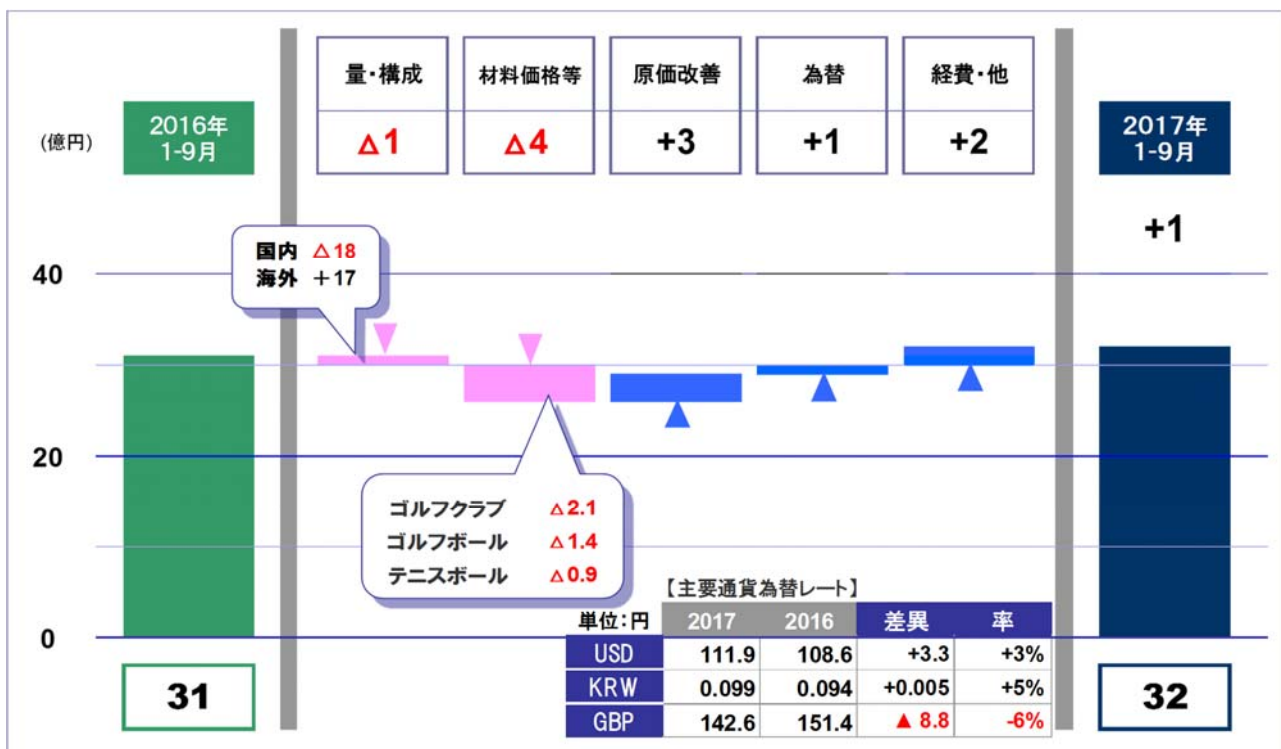
【主要通貨為替レート】

単位:円	2017	2016	差異	率
USD	111.9	108.6	+3.3	+3%
KRW	0.099	0.094	+0.005	+5%
GBP	142.6	151.4	▲ 8.8	-6%

<3>

営業利益増減要因

材料価格上昇も原価改善・経費減少により増益



※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

<4>

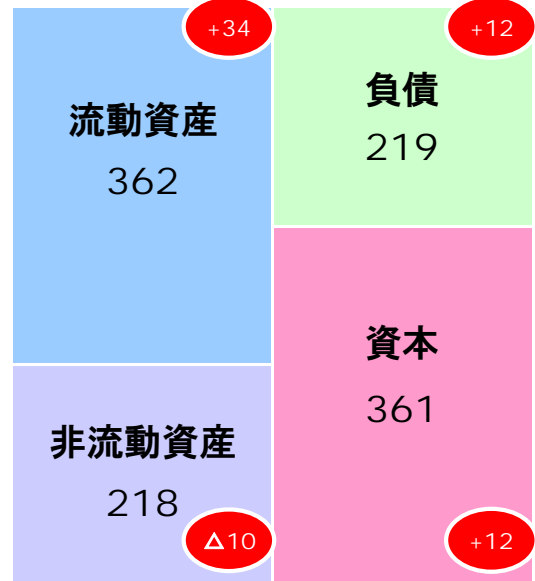
財政状態計算書(バランスシート)の状況

有利子負債が5億円増加し、自己資本比率は1.4P減少

2016年12月末

(億円)
※ 億円未満四捨五入

2017年9月末



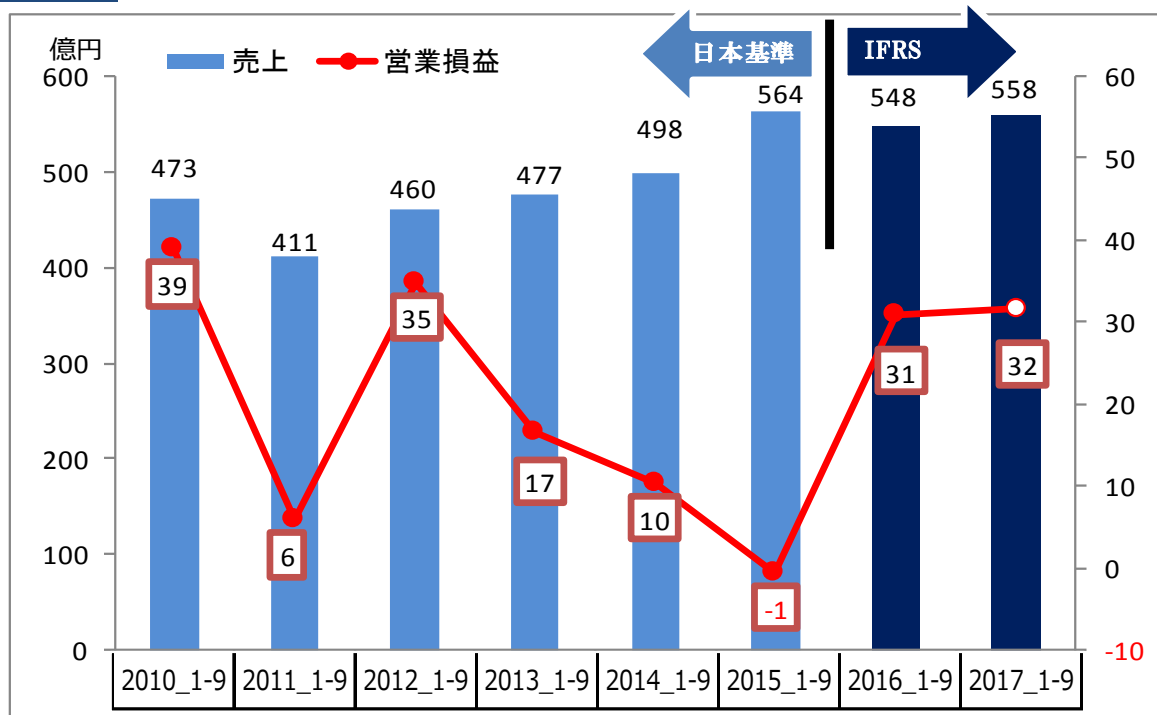
自己資本比率 60.6%
有利子負債 56

自己資本比率 59.2%
有利子負債 61

<5>

連結売上収益・営業損益 推移

1-9月
累計



USDレート 89.5 80.6 79.4 96.8 102.9 121.0 108.6 111.9

<6>

スポーツといっしょに生きる

ダンロップスポーツ